

ダイヤモンド就活ナビ2019 就職モニターレポート2月調査

【調査概要】

- ◆調査対象 2019年3月卒業予定の大学院・大学 学生
- ◆有効回答 2,112名
- ◆調査期間 2018年2月8日（木）～2018年2月15日（木）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

【回答学生の内訳】

文系	1,592名 (75.4%)	理系	520名 (24.6%)
----	-------------------	----	-----------------

【大学エリア別回答学生数】

北海道	89名	4.2%
東北エリア	32名	1.5%
関東エリア	1,083名	51.3%
甲信越エリア	27名	1.3%
東海・北陸エリア	188名	8.9%
関西エリア	480名	22.7%
中国・四国エリア	144名	6.8%
九州・沖縄エリア	69名	3.3%

【回答の多かった学生】

早稲田大学、明治大学、関西学院大学
中央大学、明治学院大学、専修大学
慶應義塾大学、同志社大学、日本大学
南山大学、関西大学、上智大学
國學院大學、法政大学、立教大学

◆TOPICS◆

<就職活動状況>

「自己分析」70.2%、「業界研究」65.6%、「企業研究」65.2%と進めている様子。
「合同企業セミナーに参加」「インターンシップに参加」「企業セミナーに参加」が
前年同時期調査よりも増えており、接触機会を積極的に持っている様子。

<志望業界・企業選択の基準>

84.8%が志望業界を「明確に決まっている」「なんとなく決まっている」と回答。
業界順では1位「メーカー」57.3%、2位「金融・証券・保険」30.2%、3位「商社」29.8%。
企業選択の基準では「社風がよい」58.6%、「仕事に魅力」54.8%の2つが圧倒的。

<インターンシップ>

インターンシップは「参加した」が7割を超える。

参加社数のトップは「5社以上」の29.6%。「1社」のみは26.0%にとどまる。

参加日数は「1日」が67.0%が最多。時期も「冬（12月～2月）」が70.8%と最も多い結果に。

【本調査に関するお問い合わせ】



株式会社
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

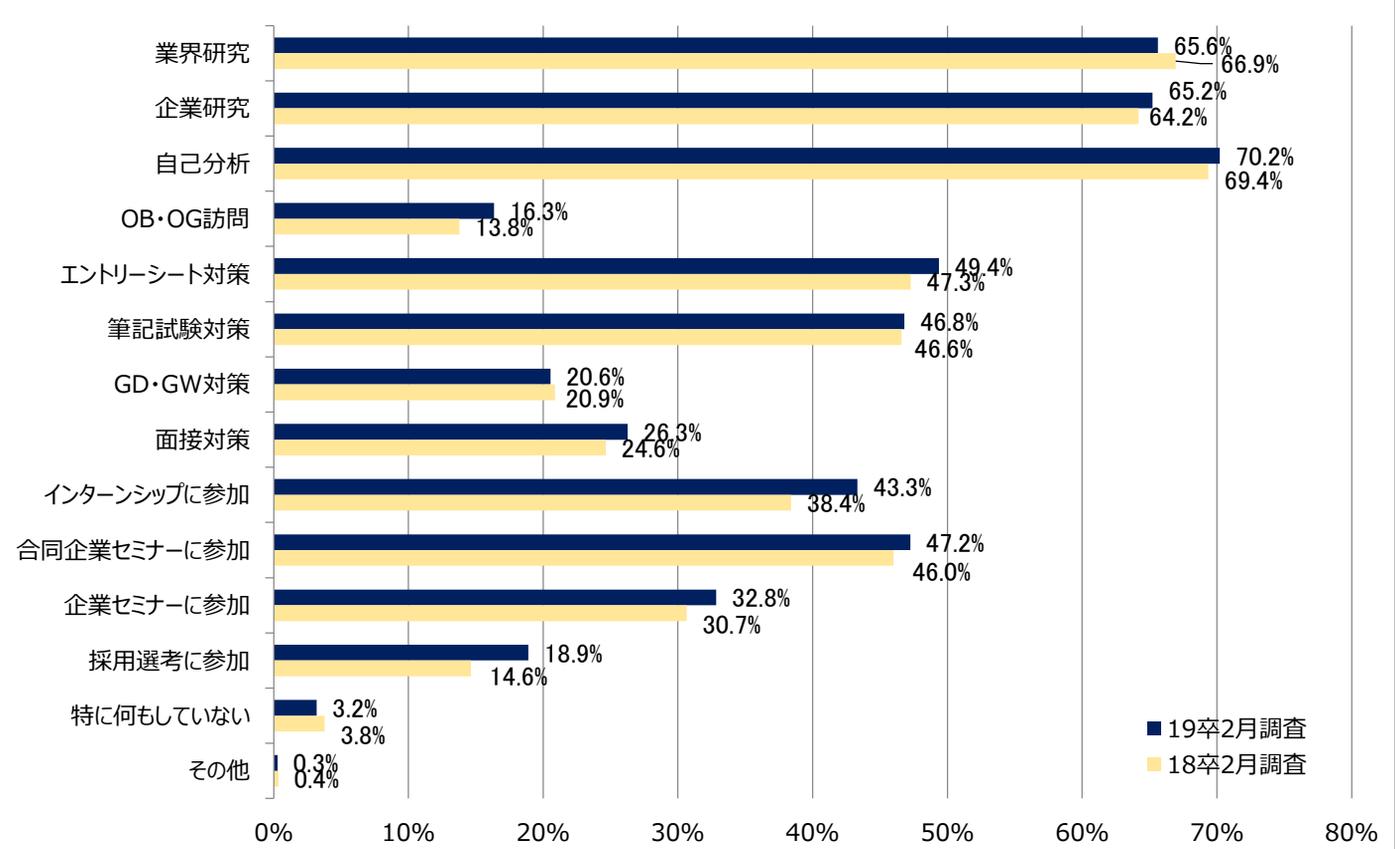
新卒メディア事業局 首都圏営業部

TEL : 03-5319-2452

E-mail : marketing@diamondhr.co.jp

就職活動の準備状況、就職活動観

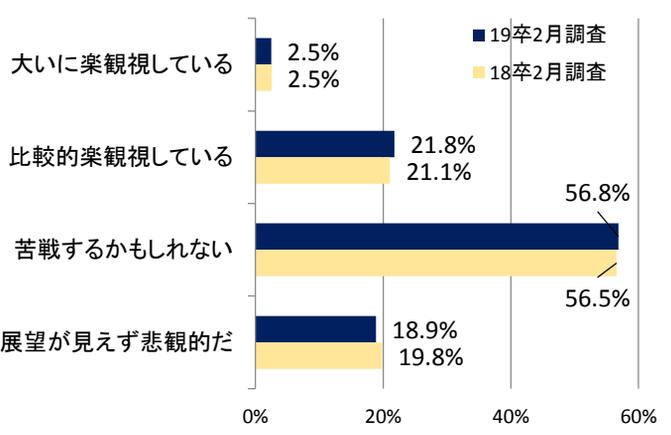
◆今の就職活動の準備状況を教えてください。



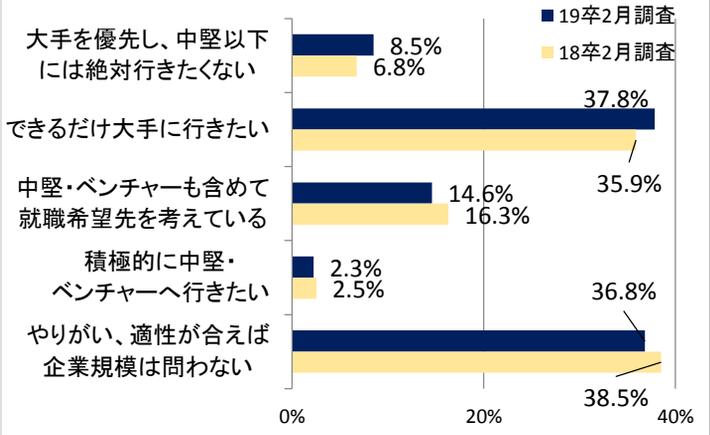
「自己分析」70.2%、「業界研究」65.6%、「企業研究」65.2%が過半数を超える。
「合同企業セミナー参加」47.2%、「インターンシップ参加」43.3%と企業との接触機会を増やしている様子。

就職活動の準備状況は「自己分析」70.2%、「業界研究」65.6%、「企業研究」65.2%が上位となった。
「合同企業セミナーに参加」（18卒2月調査：46.0%→19卒2月調査：47.2%）、「インターンシップに参加」（同38.4%→43.3%）、「企業セミナーに参加」（同30.7%→32.8%）がそれぞれ昨年より伸ばしており、昨年よりも接触機会が増えている様子がうかがえる。

◆就職活動に向け、現在の考えに近いものをお答えください。



◆どんな企業に入社したいと思いますか？現在の考えに近いものをお答えください。

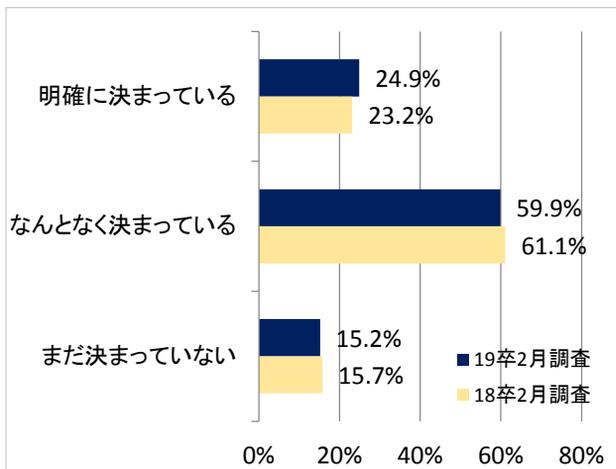


就職活動観は「苦戦するかもしれない」56.8%がトップ。
企業規模は「大手志向」が46.3%を占める。

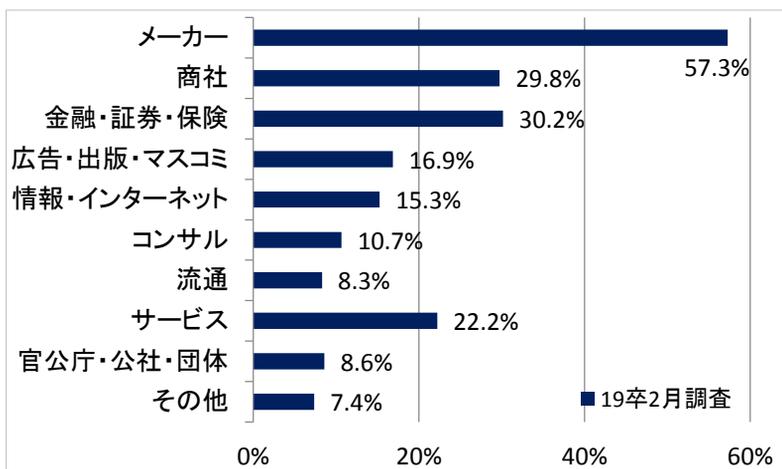
就職活動について「苦戦するかもしれない」と答えたのは56.8%でほぼ前年と同じ。他の項目もほぼ前年並みとなった。
志望企業の規模については「できるだけ大手」が37.8%とトップ。「絶対大手」志望と合わせると46.3%となり、半数には届かないものの、18卒の同時期調査よりも大手志向が広がっている。

志望業界、企業選択の基準

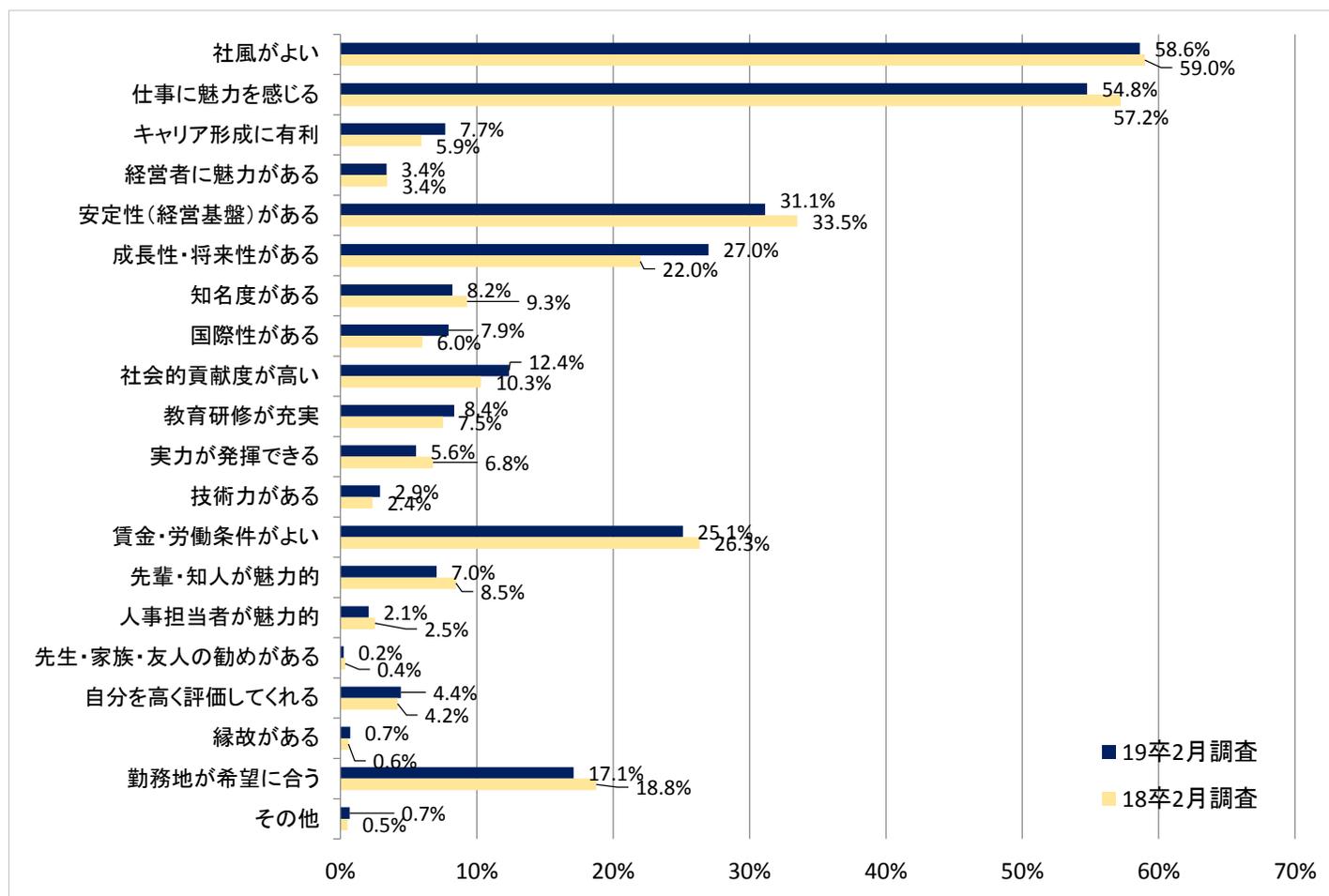
◆志望業界は決定していますか？



◆現時点での志望業界を教えてください（複数回答3つまで）



◆企業を選ぶ基準はなんですか？現在の考えに近いものをお答えください。（複数回答3つまで）



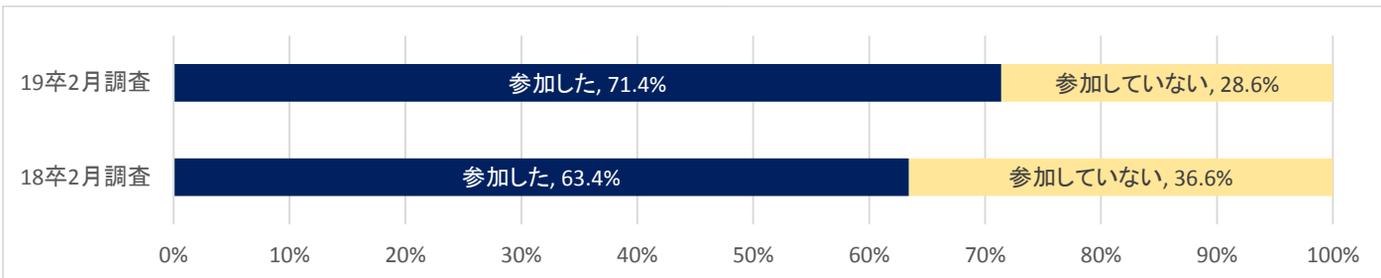
志望業界について84.8%が「明確に決まっている」「なんとなく決まっている」と回答。
具体的な業界は1位「メーカー」57.3%、2位「金融・証券・保険」30.2%、3位「商社」29.8%。

今後の就職活動における志望業界について「明確に決まっている」24.9%、「なんとなく決まっている」59.9%と、8割を超える学生が決まっていると回答。グラフはないが、先月19卒1月調査では80.9%であり、3.9ポイント伸ばしている。具体的な業界では「メーカー」57.3%、「金融・証券・保険」30.2%、「商社」29.8%が上位に上がった。

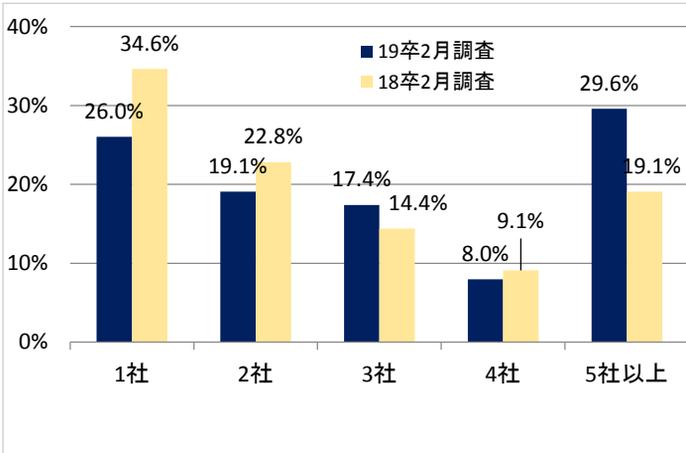
企業選択の基準について、トップは「社風がよい」58.6%、次点に「仕事に魅力」54.8%がつけており、この2つが他を圧倒している。前年18卒2月調査より伸ばしたのは「成長性・将来性がある」で、18卒2月調査22.0%→19卒2月調査27.0%と5.0ポイント伸ばした。

インターンシップ参加状況

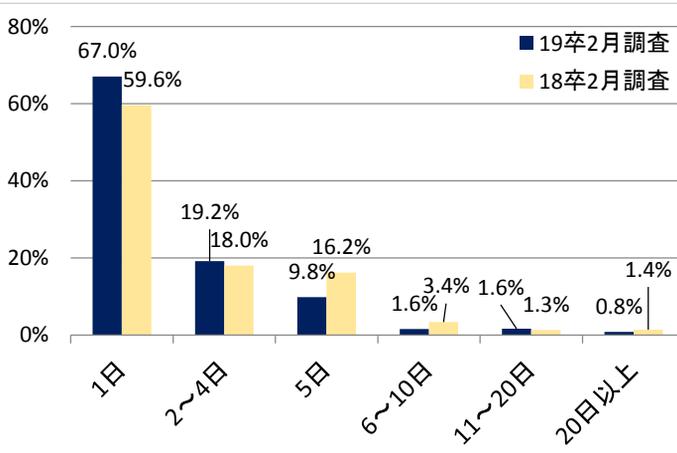
◆今年度の企業主催のインターンシップに参加しましたか？



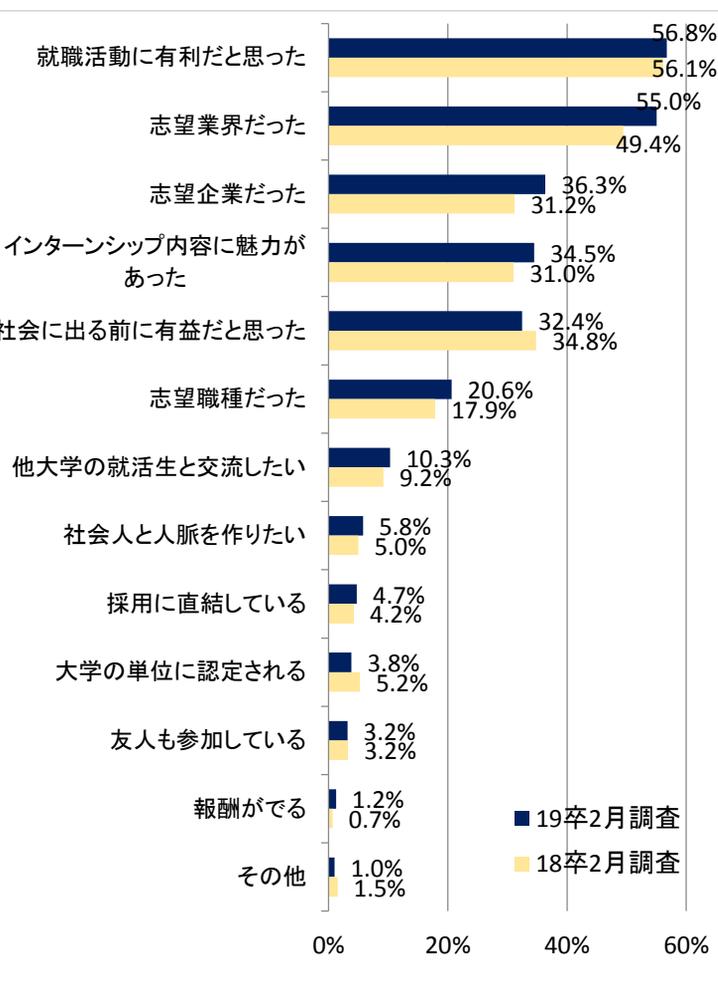
◆何社参加しましたか？



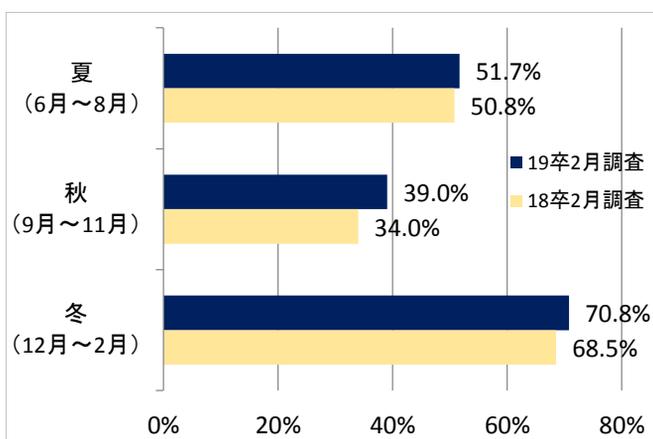
◆参加日数を教えてください。



◆参加した理由を教えてください（複数回答）



◆参加時期を教えてください（複数回答）



インターンシップは「参加した」が7割超え。参加社数のトップは「5社以上」の29.6%。参加日数は「1日」が67.0%、時期も「冬（12月~2月）」が70.8%と最も多い結果に。

インターンシップへの参加状況は「参加した」が71.4%と前年同時期調査から8.0ポイント伸ばした。グラフにはないが、19卒1月調査の65.2%からは6.2ポイント伸ばしており、企業・学生双方の積極的な姿勢をあわらす結果となった。

参加社数は「2社」以上の複数社参加が74.1%を占めている。日数では「1日」が67.0%と半数以上、時期も「冬（12~2月）」が70.8%となっており、採用広報解禁前の時期を活用している様子がうかがえる。